

議題3

市町の認知症施策の取組について

(市町認知症施策の取組状況調査結果の概要)

(令和6年度長寿介護課調査)

- 調査目的:市町における取組状況を把握し、参考となる先進事例や施策実施上の課題を抽出するための参考とする。
- 調査対象:市町認知症施策担当者
- 調査方法:調査票をメール配布・回収
- 実施時期:令和6年11月
- 回答状況:全20市町
- 各市町の回答状況:別紙のとおり



令和7年1月17日

1 認知症に関するニーズ調査等や実態把握、意見の聴取について

単身高齢者などの見守りが必要な高齢者(数)

A:把握している・・・14市町 B:把握していない・・・2市町 C:その他・・・5市町

<その他の内容>

- ・住民基本台帳にて把握している(伊予市)
- ・西予市避難行動要支援管理運営事業、緊急通報体制整備事業申請分は把握(西予市)
- ・住民基本台帳にて独居高齢者数を把握(上島町、久万高原町)

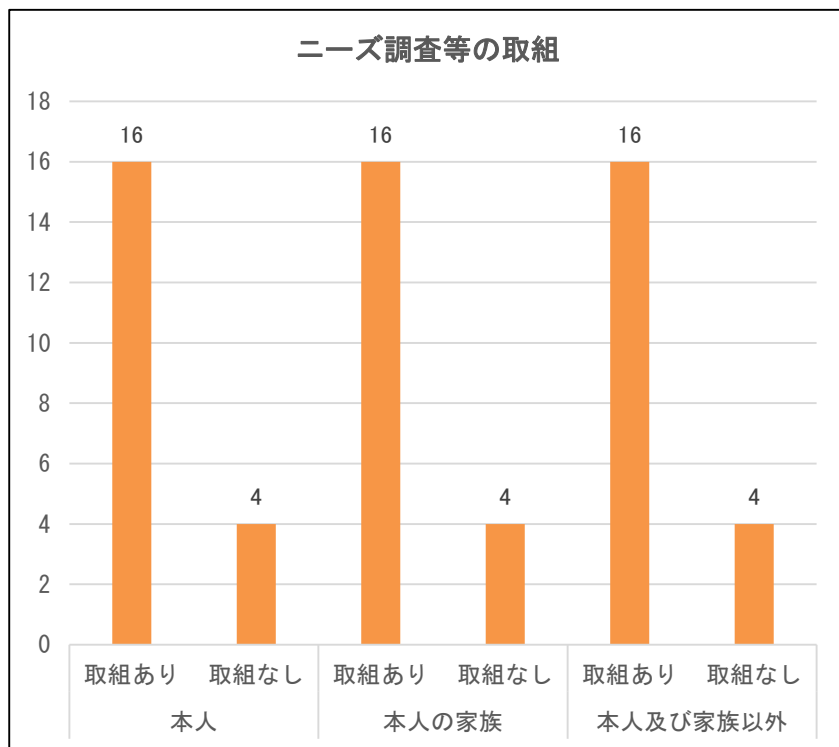
単身高齢者に対する支援について

<支援内容(自由記載)>

- ・愛の一声訪問事業、緊急通報体制整備事業、日常生活用具給付等事業、独居高齢者みまもり員設置事業(松山市)
- ・見守り推進員が地域の民生委員と連携し、原則70歳以上の独居高齢者の安否確認を行っている(新居浜市)
- ・見守り推進事業、西条市SDGs推進協議会の設置、民生委員及び地区消防団による訪問(西条市)
- ・各地区に高齢者見守り員を設置、緊急通報装置の貸出、「お元気コール」で安否確認を行っている(伊予市)
- ・各地区に見守り推進員を配置(四国中央市)
- ・緊急通報体制整備事業として緊急通報装置の設置(西予市)
- ・必要時に訪問や電話などで状況確認(上島町)
- ・見守りサービス、配食サービス、実態把握、緊急通報装置貸与等(内子町)
- ・民生委員による訪問、緊急通報装置設置事業、高齢者配食サービス事業、給食サービス事業(伊方町)
- ・救急医療情報キットの配布、地域支援事業の紹介、認知症ケアパスの配布(鬼北町)
- ・緊急通報システム整備事業、認知症高齢者等SOSネットワーク事業、社協と民生委員による独居高齢者訪問(愛南町)

1 認知症に関するニーズ調査等や実態把握、意見の聴取について

認知症に関するニーズ調査等の取組



<取組の内容>

【本人】

- ・窓口対応、訪問相談対応、電話対応時に聞き取り
- ・チームオレンジ、認知症カフェ、本人ミーティングでの聞き取り など

【本人の家族】

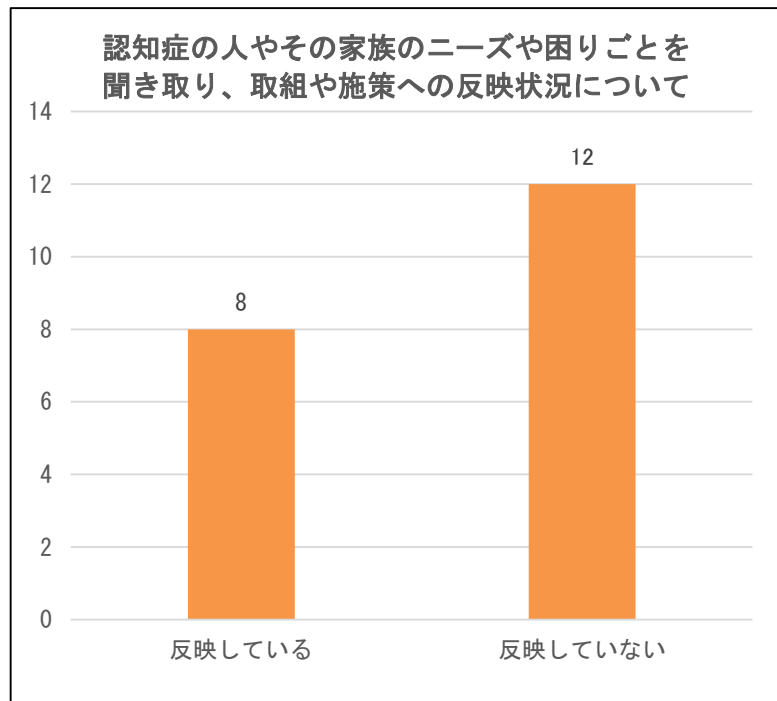
- ・窓口対応、訪問相談対応、電話対応時に聞き取り
- ・チームオレンジ、認知症カフェ、家族介護教室での聞き取り など

【本人及び家族以外】

- ・地域住民、民生委員、ケアマネからの相談
- ・金融機関、ライフライン事業所等からの情報提供 など

1 認知症に関するニーズ調査等や実態把握、意見の聴取について

認知症の人やその家族のニーズや困りごとを聞き取り、取組や施策に反映しているか



<反映し、聞き取った内容や取り組みに反映したこと>

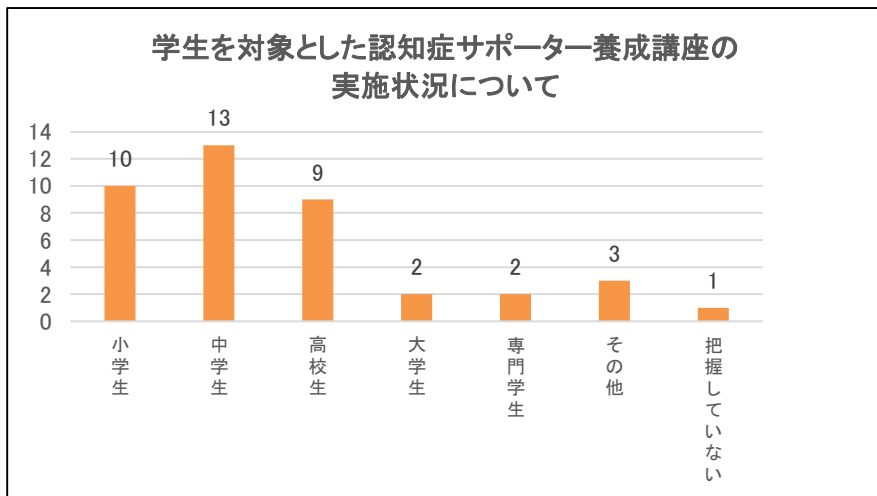
- ・家族の方より、「どこに相談・受診していいかわからない」「介護サービスではなく、気軽に通える場所はないか」との相談を受け、相談窓口・医療機関・通いの場・認知症カフェ等の情報をまとめた認知症ケアパスを作成した(伊予市)
- ・認知症カフェに参加したいが、車の運転をやめたため参加することができないという方がおられたため、通所事業所の方に送迎をお願いしたり、社協が運営している有償ボランティアで送迎支援ができるよう働きかけた(四国中央市)
- ・介護者の集いで、介護者から「食事を3食作ることが一番の苦痛。時短料理の作り方を教えてほしい」との声から管理栄養士の指導のもの「時短料理教室」を開催した(鬼北町)
- ・既存の事業のなかで取り組んでいる(複数市町が回答)

<反映していない理由>

- ・現在、ニーズや困りごとの把握に努めている段階で、今後、具体的な取組や施策に反映できるかを検討していく予定
- ・聞き取りしている対象者がまだ少なく、取組や施策につなげられるほどの課題の把握に至っていないため
- ・認知症の人や家族とのつながりを持ち、現時点では関係づくりを行っている段階
- ・人口規模が小さいため、当事者の意見をそのまま取組に落とし込むことが難しい

2 認知症の人に関する国民の理解の増進等に関する取組について

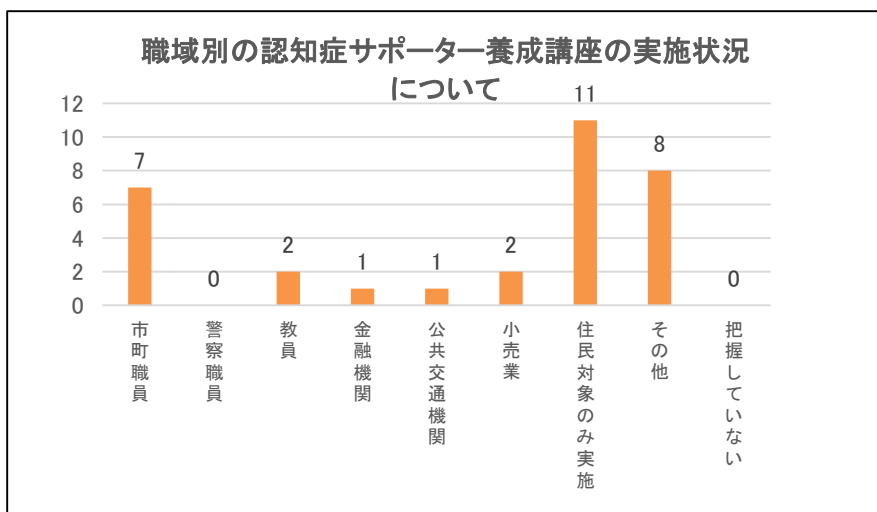
学生を対象とした認知症サポーター養成講座の実施状況について



<その他の内容>

- ・ジュニアボランティア(今治市)
- ・美容学校(宇和島市)
- ・社会福祉協議会夏休みボランティアスクール(小・中学生)(西条市)

職域別の認知症サポーター養成講座の実施状況について



<その他の内容>

- ・日本郵便(株)
 - ・介護・障がい事業所
 - ・医療機関
 - ・保険会社
 - ・商工会
 - ・市主催の介護予防サポーター養成講座でボランティア意欲のある住民
 - ・小中学生の保護者
- 等

2 認知症の人に関する国民の理解の増進等に関する取組について

キャラバン・メイトへの支援状況について

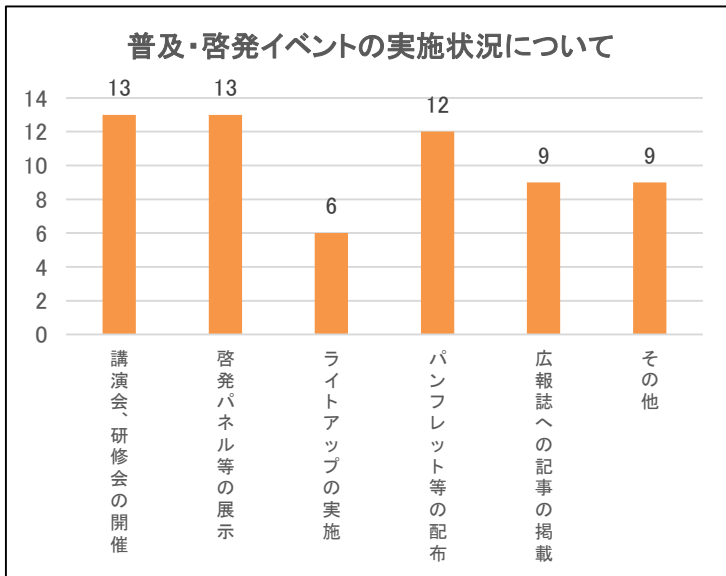
＜フォローアップ(連絡会や研修会)の実施状況＞

4市町で実施

＜内容＞

- ・認知症サポーター養成講座のテキスト変更の周知、認知症サポーターとのグループワークなど(今治市)
- ・年1回キャラバン・メイト連絡会を開催し、講座内容の検討や寸劇動画の収録(四国中央市)
- ・月1回連絡会を実施している(東温市)

認知症月間の機会等において、普及・啓発イベントの実施状況について

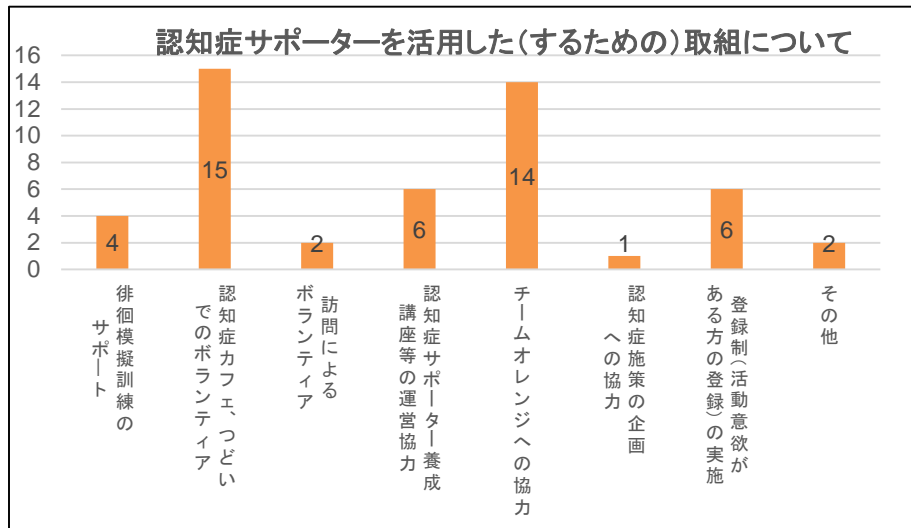


＜その他の内容＞

- ・市ホームページへの掲載(松山市)
- ・映画「オレンジ・ランプ」上映(今治市)
- ・市役所内の装飾、図書館ロビー展、広報番組での紹介(新居浜市)
- ・認知症に関するのぼり旗を設置、市SNSに認知症に関する記事を掲載、認知症サポーター養成講座の開催(西条市)
- ・懸垂幕の掲揚(四国中央市)
- ・メッセージツリーのメッセージカード記入協力(西予市)
- ・図書館で認知症関連の本の紹介を行った(東温市)
- ・MCIスクリーニングテスト及び認知症予防教室の開催(上島町)
- ・認知症講演会に併設して認知症カフェの開催と活動紹介(砥部町)
- ・CATVでライトアップの放映と認知症に関する知識の啓発報道、介護者の交流会(鬼北町)

3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

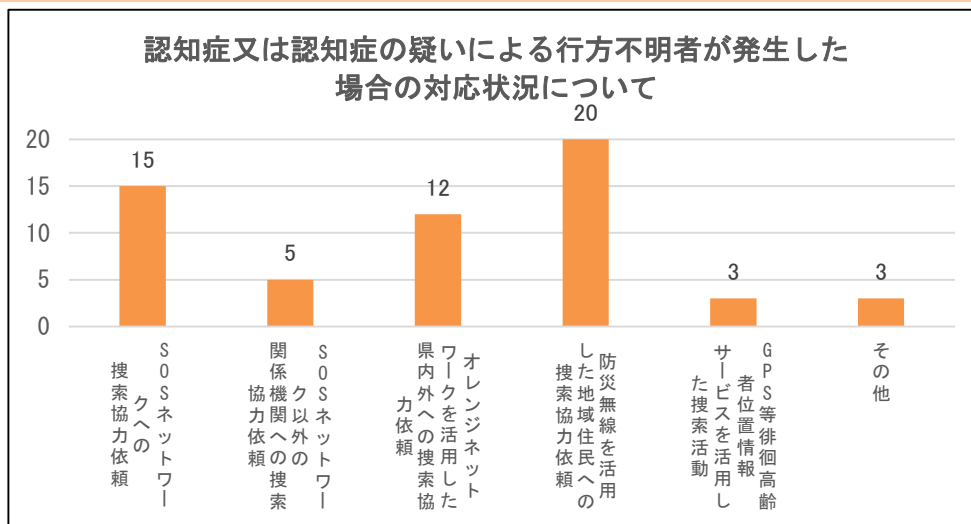
認知症サポーターを活用した(するための)取組について



<その他の内容>

- ・市主催で行っている認知症サポーター養成講座については、アンケート兼個人情報同意書として、今後の活動意欲のある方の把握を行っている(西条市)
- ・介護予防サポーター(認知症サポーターを兼ねる)を登録し、地域でニーズのあるボランティア活動とマッチングをしている(西予市)

認知症又は認知症の疑いによる行方不明者が発生した場合の対応状況について

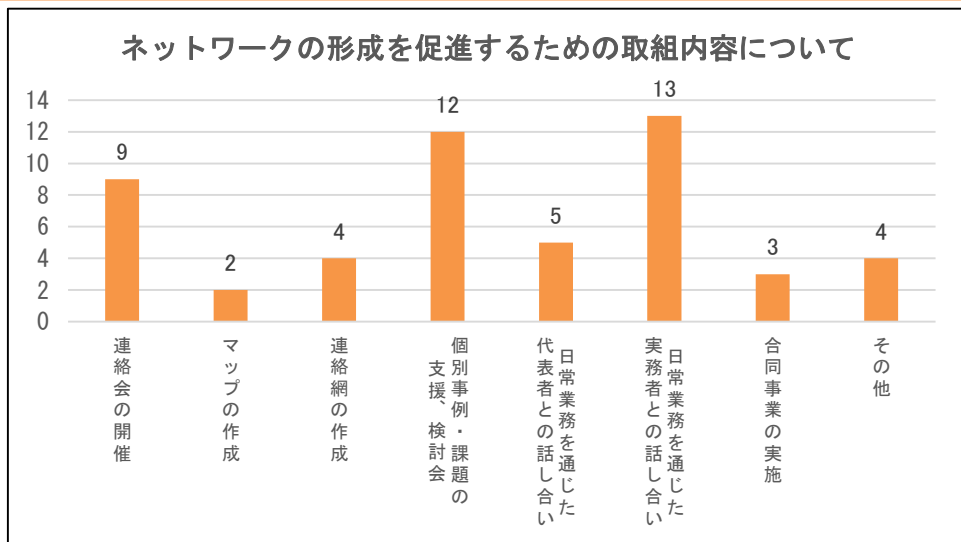


<その他の内容>

- ・西条市安全・安心情報お届けメールを活用した住民等への検索協力依頼(西条市)
- ・見守りシールの配布(伊予市)
- ・多職種クラウドシステムを活用し、検索協力依頼(西予市)

3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

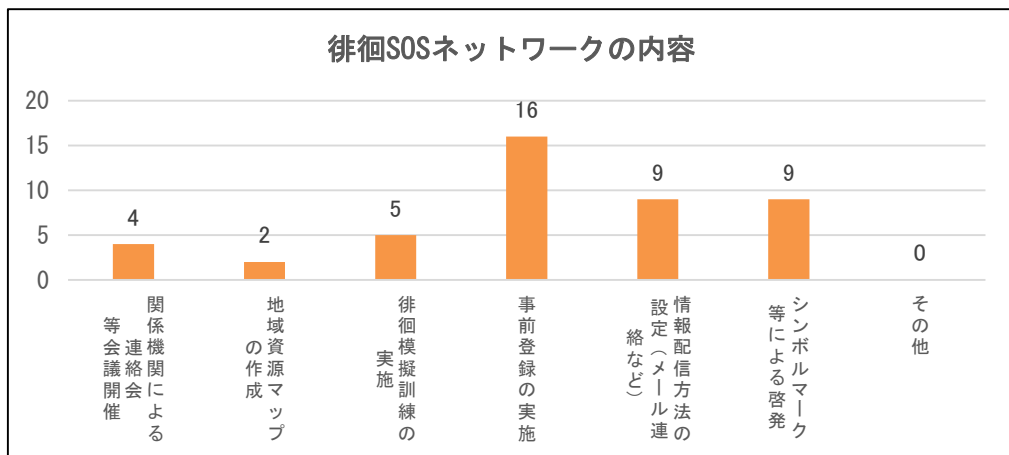
ネットワークの形成を促進するための取組内容について



<その他の内容>

- ・見守り協力加盟店への登録依頼、加盟店新聞を発行し、情報共有(西予市)
- ・対象者の情報共有、警察とのケース協議(久万高原町)
- ・見守り協力店の登録のお願いに事業所訪問をしている(砥部町)
- ・見守りネットワーク事業所の募集(鬼北町)

徘徊SOSネットワークの内容



3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

災害発生時、認知症の人を含めた高齢者が速やかに避難できる体制の整備について

A: 整備している・・・15市町 B: 整備していない・・・5市町

< 認知症の人に対するの取組み内容 >

- ・避難行動要支援者制度として、個別避難計画を作成している(複数市町が回答)
- ・防災担当課において、認知症避難者リストを作成している(大洲市)
- ・地元消防団等による避難支援(伊方町)

災害時において認知症の人を含めた高齢者が可能な限り自立した日常生活・社会生活を営むことができるための取組の実施状況

A: 実施している・・・8市町 B: 実施していない・・・12市町

< 認知症の人に対するの取組み内容(抜粋) >

- ・認知症の人を含む要配慮者や障がい者、体調がすぐれない人等のために、避難所内に福祉避難スペースを確保し、職員を配置するなどして、見守り・支援ができる体制を整えている(松山市)
- ・「災害時における高齢者への生活支援」をテーマに講演会を開催し、心身のケア方法や認知症の方への対応方法等について啓発を行った(伊予市)
- ・災害時に認知症などで一般避難所での対応が難しい場合は、協定を結んでいる福祉避難所で受け入れることができる体制をとっている(砥部町)
- ・認知症の方が不安にならないように、定期的に保健師等が巡回し様子を把握している(松野町)

3 認知症の人の生活におけるバリアフリー化の推進

認知症の人を含む高齢者等の移動支援に関する取組の実施状況

A:実施している・・・8市町 B:実施していない・・・12市町

<認知症の人に対しての取組み内容(抜粋)>

- ・移動支援担当課において、デマンドバスの運用を実施している(大洲市)
- ・社協の有償ボランティアで移動支援ができるよう働きかけた(四国中央市)
- ・交通利用券の交付や割引事業(複数市町が実施)

運転免許証の自主返納に向けた取組の実施状況

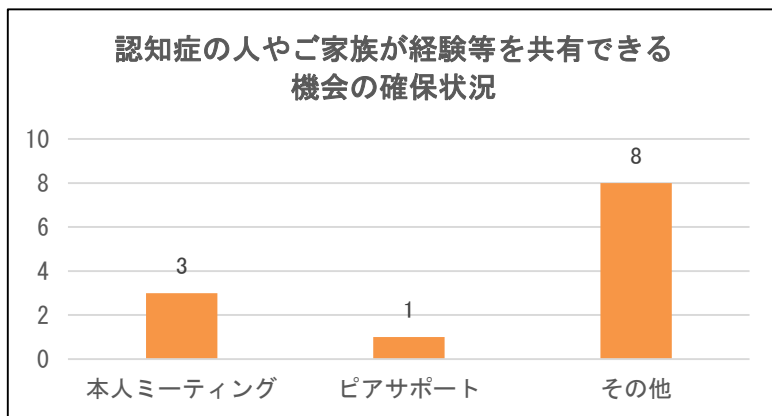
A:実施している・・・15市町 B:実施していない・・・5市町

<認知症の人に対しての取組み内容(抜粋)>

- ・運転経歴証明書発行手数料の助成(今治市、新居浜市、大洲市)
- ・公共交通機関の助成券やタクシーの利用券の交付(複数市町で実施)

4 認知症の人の社会参加の機会の確保等

認知症の人やご家族が経験等を共有できる機会の確保の取組状況について



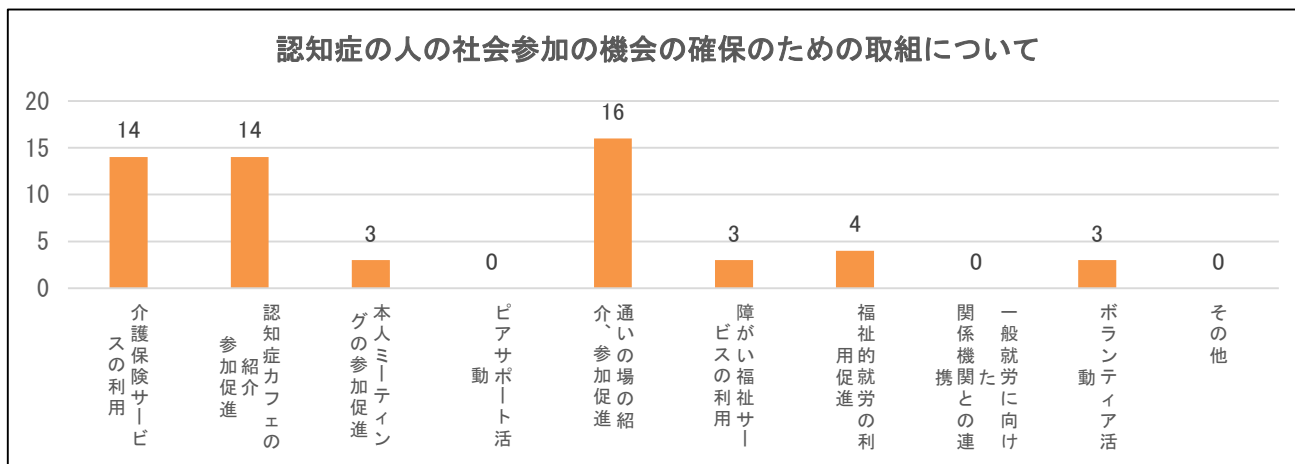
<その他の内容>

- ・認知症カフェ
- ・認知症介護教室の開催
- ・介護者のつどい

認知症の人の社会参加の機会の確保のための取組の実施状況

A:実施している・・・16市町 B:実施していない・・・4市町

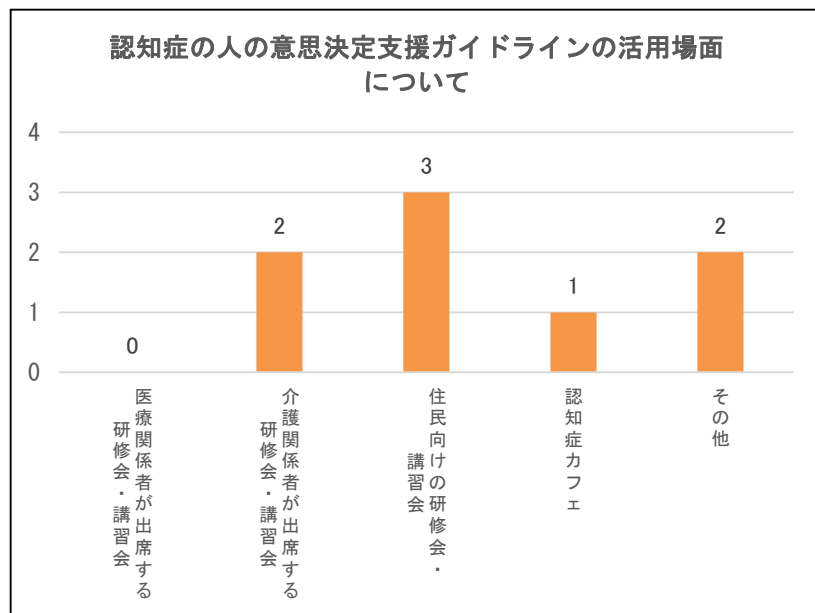
<実施している場合、取組内容について>



5 認知症の人の意思決定の支援及び権利利益の保護

「認知症の人の意思決定支援ガイドライン」の活用状況について

A: 活用している・・・4市町 B: 活用していない・・・16市町



<その他の内容>

- ・チームオレンジやステップアップ講座にて活用 (松山市、西条市)

ACP(アドバンス・ケア・プランニング)に関する取組の実施状況について

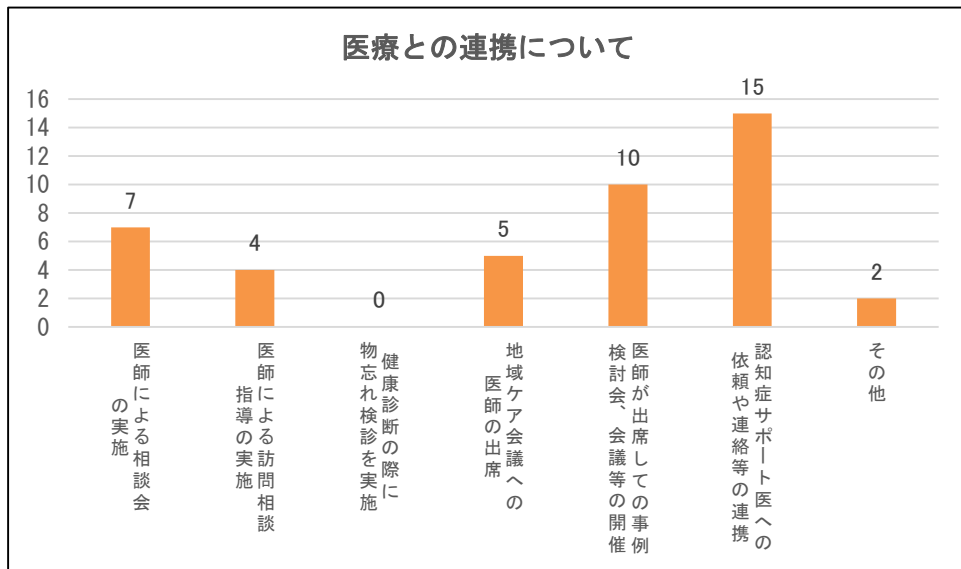
A: 実施している・・・11市町 B: 実施していない・・・9市町

<取組内容について>

- ・講演会や出前講座、パンフレットの配布(複数市町が回答)
- ・エンディングノートの作成(複数市町が回答)

6 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

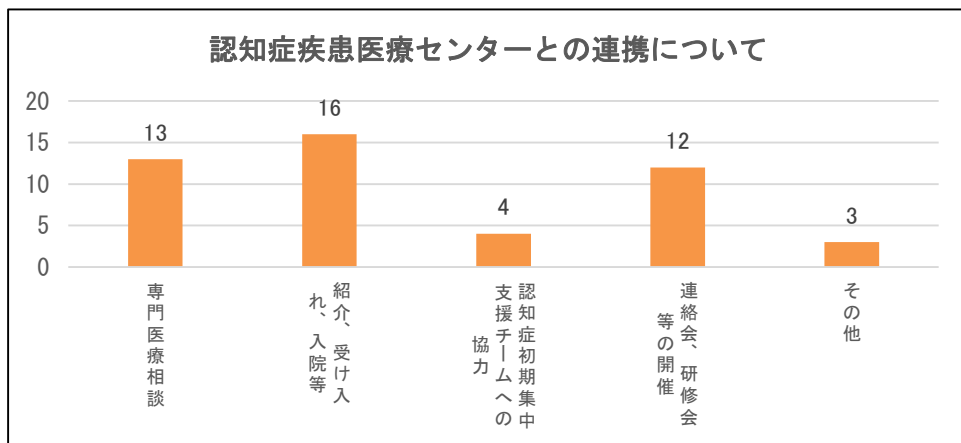
医療との連携について



<その他の内容>

- ・各地域包括支援センターに相談医を配置し、相談支援体制を整備している(松山市)
- ・かかりつけ医への個別相談(伊方町)

認知症疾患医療センターとの連携について



<その他の内容>

- ・認知症に関する疫学調査(中山町調査)、専門医のインタビュー記事を広報誌へ掲載(伊予市)
- ・市の認知症対策検討会に圏域の認知症疾患医療センターの方を委員として出席依頼、事例検討会の事例提供(西予市)
- ・研修会への参加(上島町)

6 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

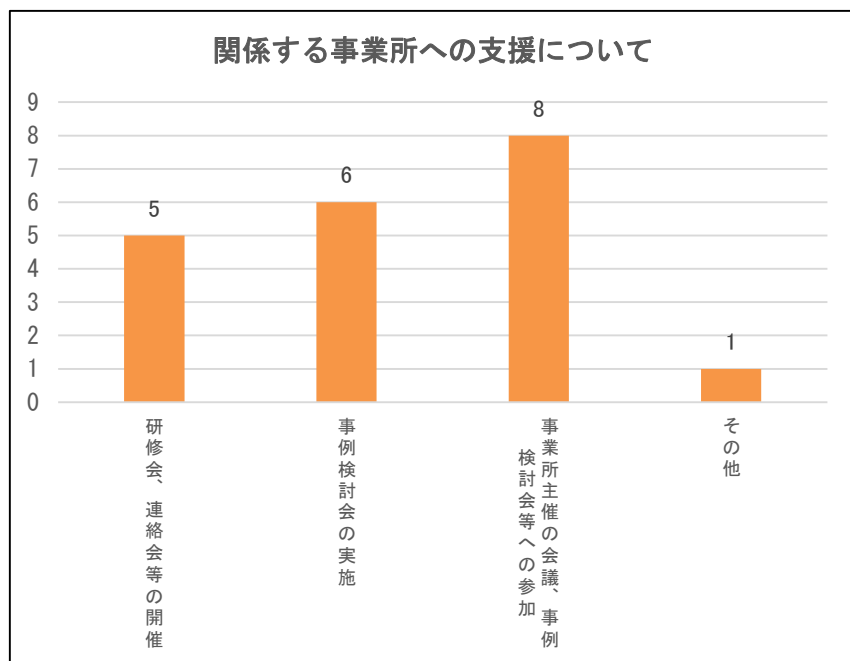
認知症初期集中支援チームについて

<課題や運営上の問題点>

- ・総合相談での対応がほとんどで、初期集中支援チームとしての経験値が乏しいこと(八幡浜市)
- ・チーム対応と通常対応の違い・判別が難しい。医療機関等と地域包括支援センターとの意識・認識にずれがある(新居浜市)
- ・初期集中支援チームとして関わると事務量が増える、認知症本人と家族の希望が合致せず、困難ケースとして長期化することがある、相談があった時点で重度の認知症で問題行動等が多発している場合が多い、必須ではないが、本人からの同意がもらいにくいことがある(西条市)
- ・認知症疾患医療センターが身近にできたことで、家族も専門医の受診を希望され、直接受診予約していくことが多くなった(大洲市)
- ・総合相談支援業務での地区担当者による認知症の人への相談対応能力の向上や、医療機関等との関係性深化などを背景に、対象者は減少傾向であり、初期集中支援チームの活動について、実施の役割分担や事務的負担軽減を図るなど工夫が求められている(四国中央市)
- ・かかりつけ医とサポート医が同一の場合はいいが、違う場合に初期集中支援チーム間で医療情報、支援内容をスムーズに共有すること(西予市)
- ・相談を受けてから支援を開始するまでに時間を要する(東温市)
- ・通常の包括支援センターにおける総合相談で対応しており、チームの活動に至らない場合が多い(上島町)
- ・認知症サポート医が令和4年度で退職されたため、町内にサポート医がいない状態であるため、現在は休止中である(伊方町)

6 保健医療サービス及び福祉サービスの提供体制の整備等

関係する事業所への支援について

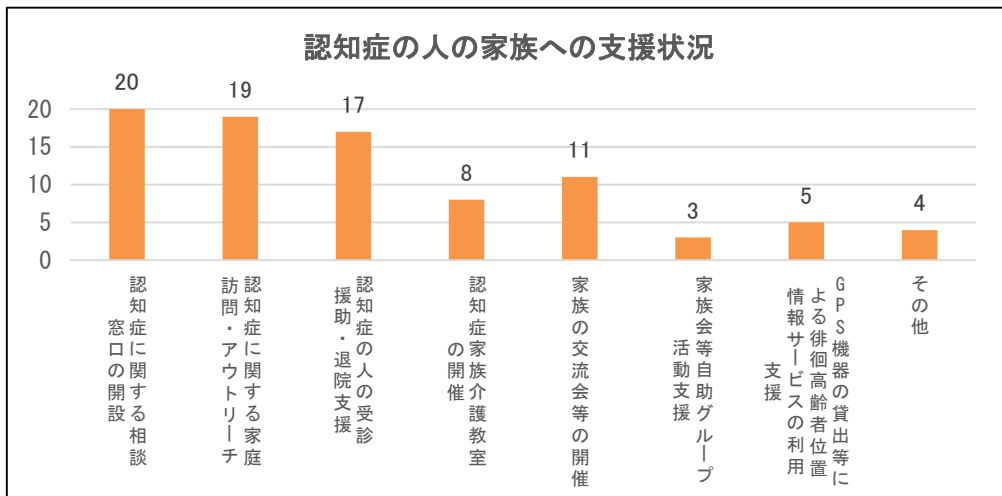


<その他の内容>

- ・必要時、地域ケア会議を開催(東温市)

7 相談体制の整備等

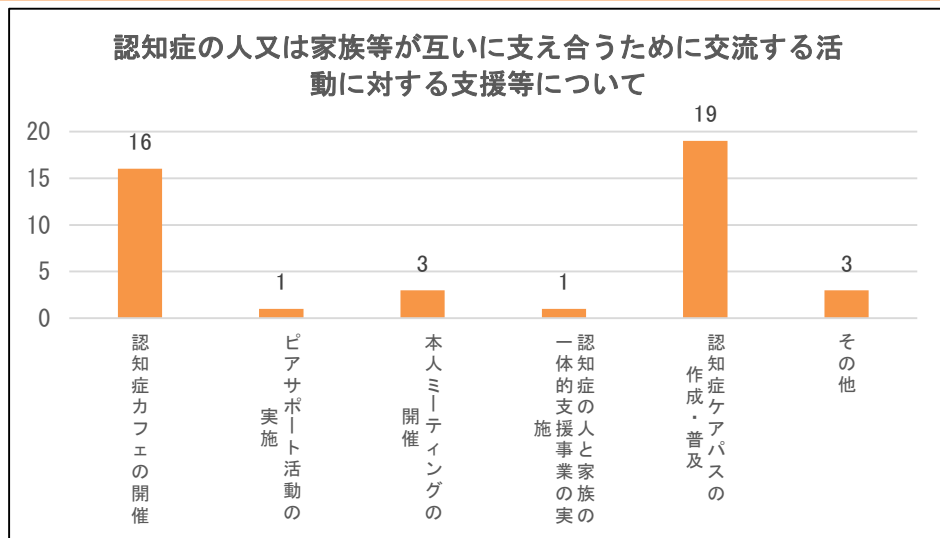
認知症の人の家族への支援状況について



<その他の内容>

- ・認知症高齢者等見守りネットワーク登録者へのQRコードシール配布(今治市)
- ・介護手当の支給(大洲市)
- ・徘徊高齢者等SOS登録事業(登録者へ見守りQRマーク配布)(西予市)
- ・徘徊高齢者事前登録、OSNへの登録(久万高原町)
- ・徘徊見守り高齢者の事前登録(内子町)

認知症の人又は家族等が交流する活動に対する支援や情報提供の実施状況について

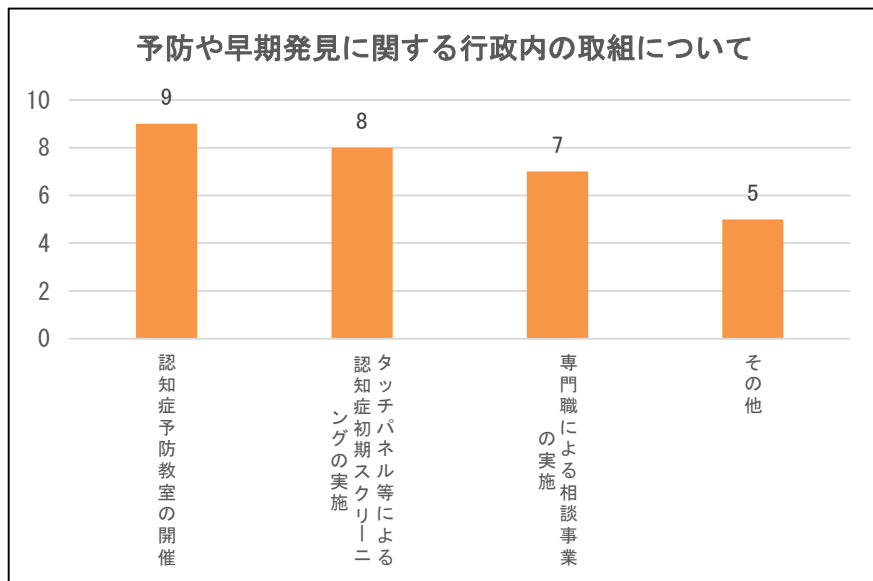


<その他の内容>

- ・チームオレンジへの参加促進、運営支援や出張相談窓口開設(松山市)
- ・認知症の人と家族の会と本人ミーティングを3か月に1回合同開催している(四国中央市)
- ・現在は休止中の認知症カフェの開催について協議している(内子町)

8 認知症の予防等

予防や早期発見に関する行政内の取組について

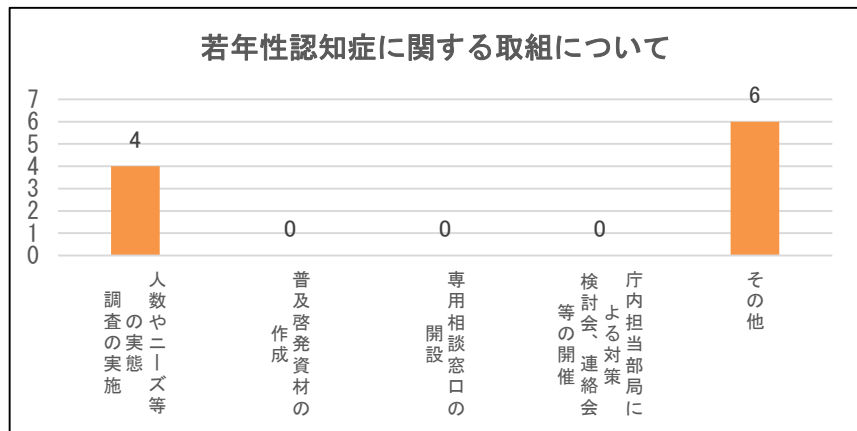


<その他の内容>

- ・地域の集い場に包括職員も参加し、気軽に相談できる場を設けている(松山市)
- ・サロンや地域の集まり等での認知症予防の講話、市主催のフレイル予防教室や介護予防運動教室の1コマに認知症予防の講話を取り入れている(西予市)
- ・MCI予防についてパンフレットを作成し、住民健診の場で配布した、運動教室やサロン等地域住民が集まる場においてミニ講座を実施した(内子町)
- ・サロンや各団体への出前講座を実施、介護予防教室の内容に脳トレ等を取り入れ実施している(伊方町)
- ・認知症予防の講話は、地域の自主活動グループからの依頼があった際に単発で行っている。ご当地体操として、愛南はつらつ介護予防体操を制作したが、そのメニューの中に認知症予防(コグニサイズ)も盛り込んで制作。介護予防の普及・啓発時に活用している(愛南町)

9 若年性認知症に関する取組

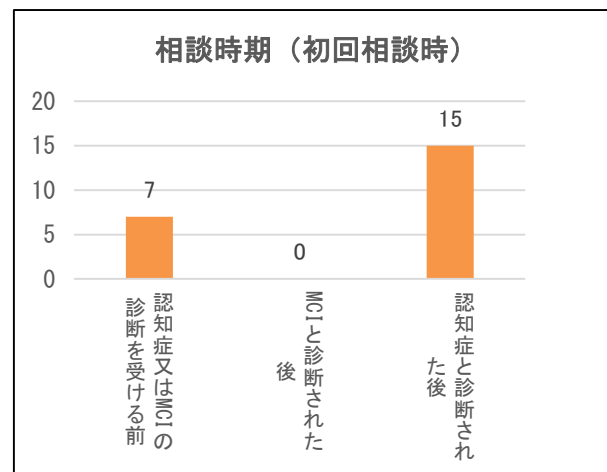
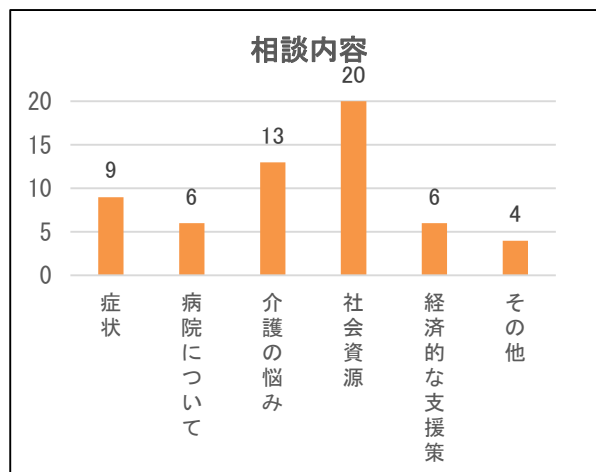
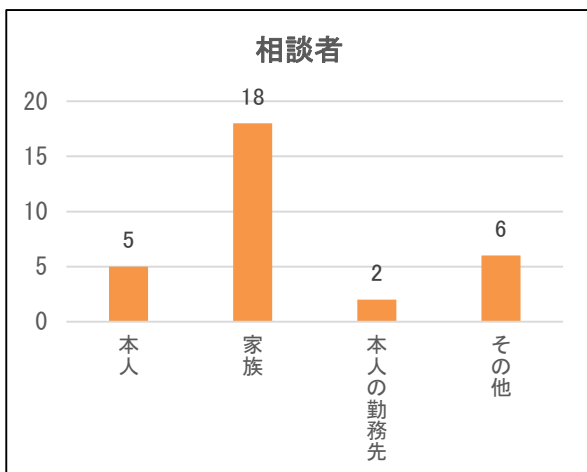
若年性認知症に関する取組について



＜その他の内容＞

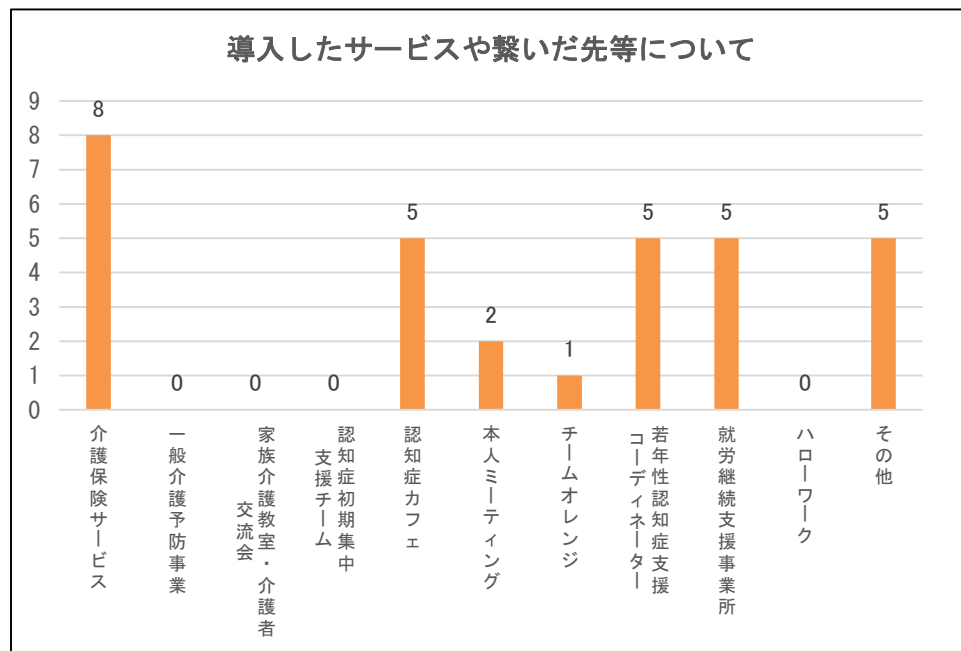
- ・若年性認知症支援コーディネーター主催の事例検討会の参加や家族会の手伝い、参加。認知症カフェ参加の呼びかけ(松山市)
- ・認知症ケアパスに若年性認知症についての内容を盛り込んでいる。個別相談・若年性認知症支援コーディネーターの紹介等(新居浜市)
- ・若年性認知症交流会に認知症地域支援推進員が協力(四国中央市)
- ・個別相談対応、必要時受診同行、通いの場の紹介(西予市)

若年性認知症に関する相談について



9 若年性認知症に関する取組

導入したサービスや繋いだ先等について



<その他の内容>

- ・障がい者地域相談支援センター(松山市)
- ・認知症高齢者見守りネットワーク事業(いまからネット)(今治市)
- ・障害福祉担当部局、相談支援事業所(八幡浜市)
- ・専門医への受診勧奨、保健センターとの連携(新居浜市)
- ・家族支援、参加可能な地域行事等の情報提供(西予市)

支援に困難を感じた事例概要

- ・本人・家族が認知症を受け入れられず、スムーズに医療やサービスにつながらない
- ・家族から相談を受けたが、本人と話したいと伝えると、「まだ、そこまでではない。大丈夫」と家族が言い、本人と会うことができない

10 認知症カフェについて

(1) 認知症カフェ設置数

75か所(令和6年11月末現在)
※休止中のカフェを含む

(2) 参加人数

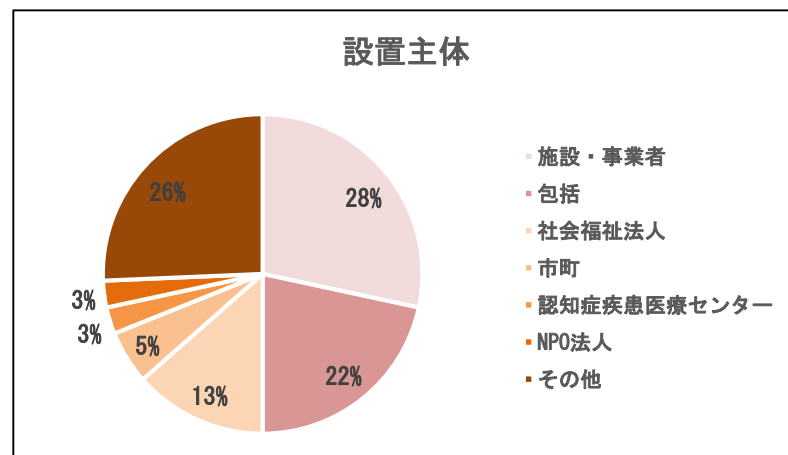
数人～50人程度

(3) 参加対象者

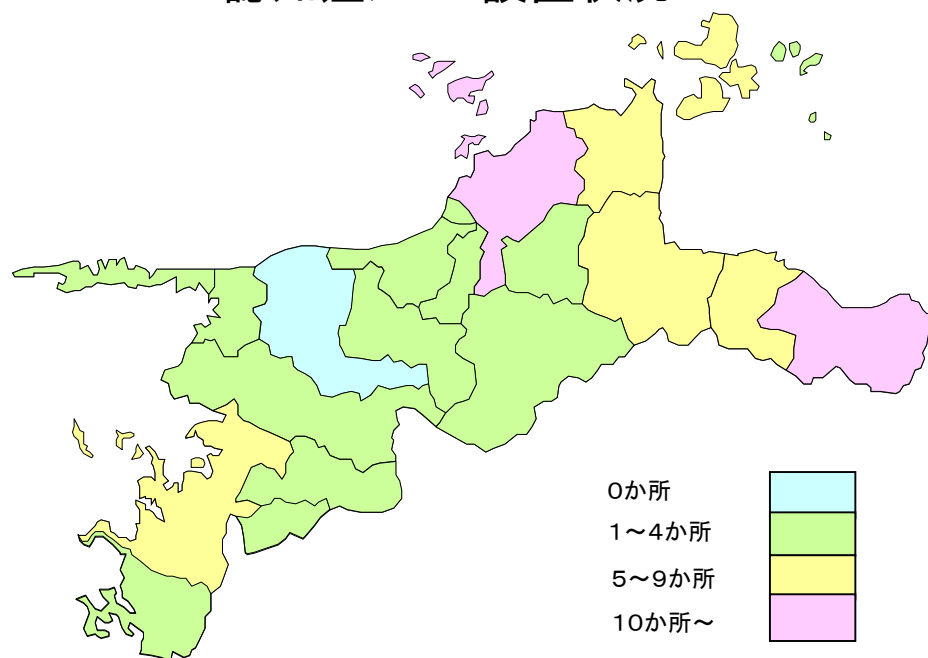
- ・認知症の人
 - ・認知症の人の家族
 - ・地域住民
- 等

(4) 活動内容

- ・参加者同士での交流
 - ・専門職による相談
 - ・レクリエーション
- 等



認知症カフェ設置状況



11 チームオレンジについて

(1) チームオレンジ設置数

12市町37チーム(令和6年11月末現在)

(2) チーム員の人数

数人～80人程度

(3) 認知症の本人の参加

参加あり・・・30チーム

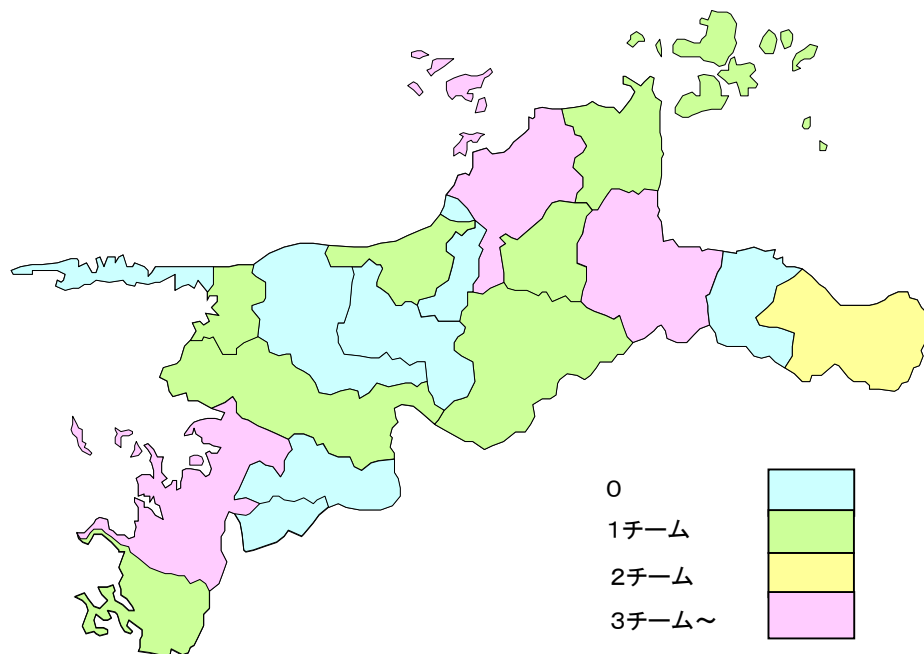
(4) チーム員の所属等

- ・地域住民
- ・介護事業所・職員
- ・民生委員 等

(5) 活動内容(抜粋)

- ・チームオレンジの活動として行う認知症カフェ、サロン前後の交流会、公園でラジオ体操を行い社会参加を促すなど(松山市)
- ・週1回の集いの場と月1回のサロン活動(今治市)
- ・参加者同士の相談、商店街主催イベントに参加し啓発活動と個別相談を行う(八幡浜市)
- ・認知症カフェをベースに活動している(西条市)
- ・認知症サポーター養成講座の講師、認知症カフェ(伊予市)
- ・畑作業や商店街で世代間の壁なくできる活動をしている(四国中央市)

チームオレンジ設置状況



12 その他

他市町における認知症施策・取組について知りたいこと

- ・認知症カフェやチームオレンジをどのように運営・管理しているか、本人や家族とのかかわり(事業への参画、意見聴取など)をどのように行っているか、普及啓発活動で効果的なものがあったら教えてほしい
- ・若年性認知症施策の取組、チームオレンジに向けた取組
- ・ご家族を対象とした支援、取組みの実施状況について(セミナーの開催、レスパイト支援、家族の会等)
- ・本人の声の聞き取り方法及び聞き取り後の流れ、本人ミーティングの取組について
- ・本人ミーティングの立ち上げ、運営方法について、本人やその家族の困りごとやニーズの把握について
- ・認知症の本人や家族が参加できる集まりの場はあるが、ニーズの聞き取りに繋げることが難しい。また、人口規模が小さいため、取組みに落とし込むことが困難だが、他市町ではどのように取り組んでいるのか知りたい
- ・チームオレンジの立ち上げや取組み事例でうまくいった事例を知りたい
- ・チームオレンジステップアップ講座の内容
- ・各市町の認知症施策推進基本計画作成に関する考えやスケジュールを知りたい

その他(課題等)

- ・地域の実情に合わせて、という自由さが逆に難しく取組みにくいことがある、認知症をもっと身近に感じ考えてもらえるような取組(例えばだがSNSでの発信やテレビ、CMなど全国的に・全体的に啓発できるようなもの)があればいいなと思う
- ・認知症カフェの安定的な運営、若年性認知症本人及び家族の発掘
- ・ポピュレーションによる認知症の早期発見と効果的な予防対策の連動のスキーム、認知症の症状が軽い人や年齢が比較的若い人が通える場がない